

草津市中学校給食実施基本計画策定に係る審議経過

第 1 回草津市中学校給食実施方式等検討委員会	
開催日	平成 2 8 年 5 月 3 1 日（火）
審議案件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員委嘱および委員紹介について ・ 草津市附属機関設置条例および草津市教育委員会附属機関運営規則について ・ 委員長および副委員長の互選について ・ 諮問について ・ 草津市中学校給食実施基本計画の策定に向けて
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食法に掲げられている給食の目標へ到達させるために、どの実施方式がよいか、という観点で検討を行うということが重要である。 ・ 中学校給食の実施時期については、できるだけ早期に実施するべきである。 ・ 以前の中学校給食では、残食の多さも廃止理由の一つであったが、同じような理由で廃止にならないようにするべきである。 ・ 中学生は心身ともに不安定な時期になるので、中学校の教員からも意見を聞きながら進めていければと思う。 ・ 草津市の小学校給食は減塩給食などに取り組んでおり、全国にも紹介されている。小学校給食の良さが中学校給食でも踏襲されるとよい。

第 2 回草津市中学校給食実施方式等検討委員会	
開催日	平成 2 8 年 7 月 2 0 日（水）
審議案件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校給食の実施に向けた基本的な考え方について ・ 他自治体の事例調査結果について ・ 生徒数の推計、必要食数の設定について ・ 各中学校の現場確認結果について
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で既に草津らしい給食を実施しているのであれば、中学校給食を実施する際にはどのように踏襲しながら進めるかという点が、中学校給食における草津市らしさということにつながるのではないかと。 ・ より良い内容の給食を実施してほしいという思いはあるが、理想だけを掲げて、実際に学校現場がやりきれぬのかという不安もある。学校現場を総合的に支援するような視点も大切にしてほしい。 ・ 給食の負担を学校の先生だけに担わせてはいけない。中学校給食導入については、学校現場だけでなく、PTA、市民、市全体がどう責任を担うかという視点が必要。学校現場に過大な負担がかかり、教育内容にひずみが出てしまえば問題である。 ・ 自校方式はスペース確保の点などで厳しいという印象である。将来的に人口増加が見込まれることも考慮すると、現在の中学校施設内で自校方式が可能か疑問である。 ・ 小学校でセンター方式を実施しているので、センター方式の経験やノウハウがあるが、自校方式は食育的な良い面がある一方、コストやノウハウなどを考えると、今の草津市では自校式よりセンター方式の方が合っているのではないかと。 ・ デリバリー方式なら保護者は自分で弁当を作った方がいいと思うだろう。

第3回草津市中学校給食実施方式等検討委員会	
開催日	平成28年11月1日(火)
審議案件	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方式等の検討について <ul style="list-style-type: none"> ・実施方式の比較について ・概算事業費用について ・草津市中学校給食実施基本計画骨子(案)について <ul style="list-style-type: none"> ・構成について ・基本的な考え方の整理について
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市民目線から見ると、センター方式が最も有利だと思う。現場の負担を考慮するとデリバリー方式が望ましいかもしれないが、安定的な給食の提供や、小学校で実施しているセンター方式と同じ環境が保証されること、平等に給食が提供されることを考慮すると、センター方式がよいと思う。 ・学校現場は、以前の給食中止時から変化している。長い目で見て、食育等を考慮するとデリバリー方式は厳しく、センター方式が望ましいと思うが、円滑な導入という点については大きな課題があると考えている。現場と教育委員会が連携して議論を十分に行い、現場の納得の上で進めるべきである。 ・子どもたちには良いものを食べてもらいたい。デリバリー方式であれば弁当のままの方が良いという声も聞く。行政が責任を持って良い給食を提供しなくては給食を実施する意味がない。 ⇒結論：実施方式としてはセンター方式が望ましい。 ・「基本的な考え方」はこれでよいと思う。給食の実施は、単に食べるだけでなく「食育」につながり、準備や片づけ等を通じて「豊かな人間関係の形成」につながる。また、小学校給食で推進している和食は「望ましい食習慣の形成」につながるものなので、給食センター方式とする場合、それぞれ考え方に合致している。 ・「基本的な考え方」について、内容はこれまで意見が反映されているのでよいと思う。計画書に記載する際の見せ方として、各項目を羅列するのではなく、図式化をするなどの検討が必要である。 ・中学校給食は学校だけの責任で実施するものではないので、行政や保護者、市全体で実施していくという考え方をしてほしい。